

議会報告会



議会報告会を11月8日（土）、15日（土）、16日（日）にそれぞれ町内4カ所のコミセンで開催しました。ご参加いただきました住民の皆さま、誠にありがとうございました。



議会報告会
報告書はこちら

●なり手不足
問 自治会役員がなり手不足である。ごみステーションの管理が今後どうしていくのか。
答 自治会の運営は大変であり、なり手不足は現実問題である。ごみの管理と合わせて、これからも注視していく。
問 民生委員のなり手不足に困っている。ボランティアでの活動には無理があるので、報酬を出すべきでは。
答 この自治会でも、民生委員のなり手不足には苦労している。今後は有償ボランティアなどとも考える必要があるのではと思われる。しかし、法律で無報酬と定められており播磨町だけで対応することはできない。なお、活動にかかる実費は手当

●路線バス
問 町の南側は神姫バスの通っているところが少ない。検討はどうか。
答 財政の問題もあり検討中である。今後何があるのか。
問 消防団も、なり手不足の状態にあると聞いている。時間に余裕があり消防団経験のあるシニア世代に手伝いのできることはないか。
答 他の自治体では、機能的消防団や消防団協力員として学生やシニア世代などの力を借りている事例がある。特に平日の日中などは、町外で働いている団員が多いので、火災時などに出勤できる団員が少ない。そのような際にも助けになるので、検討は必要と思われる。

●ごみ問題
問 ごみにネットをかぶせて出しているが、カラスなどの影響で散乱している場所がある。箱など町の方で設置できないか。
答 収集場所は自治会の管理であり、町全体がネットを使用している。一部の自治会でケージを作っているところがある。自治会で対策していただきたい。要望として行政に伝える。
●下水道管の老朽化
問 全国的に下水道の老朽化による陥没が見られるが、町の下水道は大丈夫なのか。
答 車が落ちるような太い下水道管はない（下水

13人の議員が2班に分かれ、9月定例会・決算特別委員会における令和6年度決算の審議内容や結果に至った経緯などを報告しました。参加者からは議案や町行政に対する幅広い質疑がありました。また、多くの意見・提言をいただき、今後も住民の声を議会活動に活かしたいと思っています。報告会での質疑と意見・提言の一部を紹介します。（詳しくは議会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。）

播磨町に合うのか議会でも研究しながら訴えていきたい。

道管の老朽化率は0%。

意見・提言

▼見守りカメラが曲がり角など必要な場所についていない。有効な場所に設置し直してもらいたい。また、見守りカメラではナンバープレートなどが確認できないので自治会のカメラを見せてほしいとの警察からの依頼があった。さらに、不法投棄など地域にとって必要な時に画像を活用することができない。
▼他市町から粗大ごみの不法投棄がある一方、持ち去る人もいる。何とかしてほしい。
▼町のマイクロバスの予約状況を公開してほしい。利用したい自治会や団体の日程調整がしやすくなると思う。
▼引越してきた人に自治会に入るとかシニアクラブに入るなど、強制でなくもっと進めてほしい。

議会って？ 議員の役割は？

町内4小学校に議員が出向き、6年生の児童を対象に「町議会の仕組み」を学ぶ出前教室を行いました。初めに教育委員会から児童に対して、スライドを用いて町議会の概要説明が行われ、その後、各議員が児童からのご質問にお答えしました。



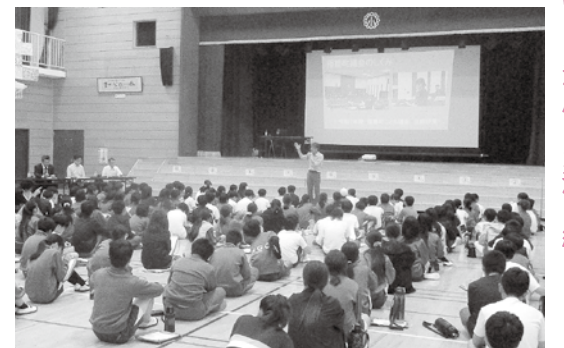
10月23日
播磨小学校
担当議員
大北・神吉・河野



10月16日
播磨西小学校
担当議員
板谷・竹内・宮宅



10月27日
播磨南小学校
担当議員
岡田・奥田・木村



10月27日
蓮池小学校
担当議員
浅原・大龍・細田

《児童の感想》

○議員になってみたいになりました。みんなが思っていることを解決してあげられるかもしれないし、みんなの役に立ちたいからです。
○子ども議会の提案が実現していると知って、この播磨町がもっと良い町になっていく気がしました。
○18歳になったらちゃんと選挙の投票に行こうと思いました。